

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|----|-------------------------|------------------------|-------------------|---|------|-----|----|
| 1 | 島田家住宅主屋 | 北海道富良野市 | S16/S28頃増築 | 富良野の本通りに位置する地元製材所従業員の住宅。平屋建て鉄板葺き、中廊下式の平面で、地元の良材を用いた戦前の良質な近代和風住宅。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 2 | 旧山谷(やまや)家住宅石倉(樋口季一郎記念館) | 北海道石狩市 | S13 / S20 代・H31改修 | 知津狩川(しらつかりがわ)南岸の農村集落に位置するかつて米や雑穀など収納した石倉と木倉。札幌軟石を用いた石倉は、外壁下見板張りとした木倉とともに集落景観を形成。石倉は現在、ユダヤ人救済で知られる陸軍中将樋口季一郎記念館として活用。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 3 | 旧山谷家住宅木倉(きくら) | | M44 / S50 頃改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 4 | ヒノキ新薬株式会社ルスツ山寮 | 北海道虻田郡留寿都村(あぶたぐんるすつむら) | S47 | 尻別岳(しりべつだけ)山麓に位置する企業の保養所。白井晟一(せいいち)設計で、切妻造りの大屋根を架け、内部階段など要所に白井らしい彫塑(ちょうそ)的な造形を施す。 | 文化福祉 | 建築物 | 2 |
| 5 | 旧鈴木家住宅板倉 | 宮城県石巻市 | T4/R4移築 | 北上川河口に移築した板倉2棟。柱を密に立てスレート葺き屋根とした当地域特有の板倉。川沿いの旧鈴木家住宅板倉は、置屋根の面戸板などを精緻(せいち)な彫刻で飾り、大工の力量を示す。丘上に位置する旧佐々木家住宅板倉とともに現在はいずれも飲食店として活用。 | 産業1次 | 建築物 | 2 |
| 6 | 旧佐々木家住宅板倉 | | M中期 / T4・R4移築 | | 産業1次 | 建築物 | 2 |
| 7 | 津島神社本殿 | 宮城県登米市 | T8 | 仙台藩の要害(ようがい)、佐沼にある神社。境内南寄りに本殿が北面して建ち、北に拝殿、神輿殿を配す。本殿は一間社流造り。全体に彫刻濃密で華やかなもの。拝殿は入母屋造りで向拝(こうはい)に軒唐破風を付し、妻飾(つまかざり)や海老虹梁(えびこうりょう)など彫刻で飾り、時代相をよく示す。内部に神輿を安置する神輿殿とともに境内の歴史的景観をつくる。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 8 | 津島神社拝殿 | | T12 | | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 9 | 津島神社神輿殿(みこしでん) | | S10 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 10 | 旧片野家住宅主屋 | 秋田県横手市 | M中期 / S前期改修 | 横手旧城下の武家町に所在する旧家の屋敷。主屋の周囲に煉瓦蔵、中の蔵、味噌蔵を配し、表門と塀が屋敷を画す。主屋は中庭を中心に玄関座敷棟、座敷棟、大広間棟、北廊下を配した大規模なもの。式台に加え、洋室や大小の座敷からなる良質な接客空間を備えた近代和風住宅。煉瓦蔵は内部の柱や梁を透き漆塗りで艶やかに仕上げた豪華なつくり。中の蔵は外壁を漆喰仕上とし上部に鉢巻を廻した重厚な外観。味噌蔵は太い梁を重ねた豪壮な土蔵。表門は軒を緩く反りを付けた薬医門でこれに連なる長大な塀が旧家の表構えをつくる。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 11 | 旧片野家住宅煉瓦蔵 | | M38 | | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 12 | 旧片野家住宅中の蔵 | | M38頃 / S30頃改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 13 | 旧片野家住宅味噌蔵 | | M22 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 14 | 旧片野家住宅表門及び塀 | | M中期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 15 | 旧大潟村入植予定者観覧用農家住宅 | 秋田県南秋田郡大潟村 | S44 | 大潟村中心部に位置し、入植予定者向けの観覧用として建てた住宅。コンクリートブロック造及び木造の混構造で、地域が親しむ大きな三角屋根は、八郎潟干拓地の特徴的な景観をつくる。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 16 | 小嶋総本店店舗兼主屋 | 山形県米沢市 | T8 / S前期増築、S48改修 | 米沢旧城下の南東口に位置する造り酒屋。敷地北東隅に通りに面して主屋を建て、南に醸造及び商品出荷用の一号蔵から五号蔵、作業場及び倉庫を三列に配し、主屋の西には文庫蔵の土蔵と屋敷神の稲生社本殿を建てる。大正8年米沢大火直後に建てた店舗兼主屋は間口長大な近代和風建築。一号蔵は、合掌の中程を受ける束を桁行貫で固める独特の小屋組。白漆喰塗の外壁腰に赤瓦の海鼠(なまこ)壁とした長大な土蔵。二号蔵は一号蔵と共通の意匠が整った街路景観を創出。三号蔵は西側は庇を含めて大屋根を一連で葺降した大規模な土蔵。四号蔵は南北両妻に両開き戸口を設けた長大な仕込蔵。五号蔵は敷地南側の景観をつくる仕込蔵。倉庫は小屋組はキングポスト・トラスで柱と陸梁を方杖で挟む。敷地南東隅の景観をつくる。土蔵は造作丁寧な文庫蔵で、敷地北の景観の要。作業場は南面に三号蔵と四号蔵の戸口が開き蔵前をなす。北にはボイラー室や瓶詰工場が接続する通路兼作業場。稲生社本殿は小規模ながら質実なつくり。主屋と同時期の表門及び板塀、北板塀が一体となって、米沢旧城下の歴史的な景観をつくる。 | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 17 | 小嶋総本店一号蔵 | | M前期 / S30代改修 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 18 | 小嶋総本店二号蔵 | | M後期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 19 | 小嶋総本店三号蔵 | | E末期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 20 | 小嶋総本店四号蔵 | | M中期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 21 | 小嶋総本店五号蔵 | | T11 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 22 | 小嶋総本店倉庫 | | T後期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 23 | 小嶋総本店土蔵 | | M前期 / S49移築 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 24 | 小嶋総本店作業場 | | T後期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 25 | 小嶋総本店三日月稲生社(いなりしゃ)本殿 | | S4 / S49移築 | | 産業2次 | 建築物 | 2 |
| 26 | 小嶋総本店門及び板塀 | | T8頃 | | 産業2次 | 工作物 | 1 |
| 27 | 小嶋総本店北板塀 | T8頃 | 産業2次 | 工作物 | 1 | | |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|----|-------------------------------|------------------|----------------------------|--|--|-----|-----|
| 28 | 旧二階堂家住宅主屋 | 福島県福島市 | E後期／M20頃増築、S55改修 | 福島市南西の農村集落に位置する名主の屋敷の主屋と長屋門。主屋は敷地中央に東面する桁行15間梁間6間半、入母屋造鉄板葺の建物。柱の面取大きく古式で、式台玄関など格式を備えた江戸後期の大規模民家。敷地東面には江戸末期に遡る大規模な長屋門も残り、旧家の風格を示す。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 29 | 旧二階堂家住宅長屋門 | | E末期／M28増築、S55改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 30 | 栗花家住宅店蔵 | 福島県伊達郡桑折町(こおりまち) | M41／H23改修 | 桑折(こおり)宿の中心部に位置する旧蚕物商(さんぶつしょう)の店蔵と主屋。奥州街道に西面する店蔵は、前土間のミセに摺上戸を残し、二階は一室で繭の保管場とする。東に接続する平屋建ての主屋とともに奥州街道沿いの歴史的な景観を形成する。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 31 | 栗花家住宅主屋 | | M41／S後期増築 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 32 | 無能寺(むのうじ)山門 | 福島県伊達郡桑折町 | 元治元(1864) | 桑折宿に位置する浄土宗寺院の薬医門。ケヤキの良材を使い、当地域の布教拠点に相応しい雄大な構えの山門。 | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 33 | 土浦市民会館 | 茨城県土浦市 | S44／R2改修 | 土浦の中心部に位置する市民会館。設計は建築音響工学の大家で知られる佐藤武夫。正面列柱と大階段など佐藤による古典主義的な意匠が記念性を高める。 | 文化福祉 | 建築物 | 2 |
| 34 | 饗茶庵花蓮(きょうちゃあんはなれ)店舗(旧安生家住宅主屋) | 栃木県鹿沼市 | T5／S37増築、R2改修 | 鹿沼城跡北東に位置する和洋折衷住宅。洋室外壁はモルタル塗仕上で目地を切り、石造風にみせ、端正な外観が地域の歴史的な景観をつくる。現在はスポーツジムとして活用。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 35 | 三斗小屋(さんどごや)温泉大黒屋旅館本館 | 栃木県那須塩原市 | M2頃／M5増築、T前期・S前期・同中期・同54改修 | 那須岳中腹に位置する三斗小屋温泉の旅館。建ちが低く古式で、山岳地に位置する近世由来の温泉宿(やど)の様相を留める旅館建築。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 36 | 旧吉田村農業協同組合西倉庫(吉田村Village西棟) | 栃木県下野市 | S前期／R元改修 | 鬼怒川右岸に所在する石造平屋建の旧農協の穀物倉庫2棟。昭和戦前の西倉庫は外壁下部六箇所にバットレスを付す。昭和戦後の東倉庫は控壁と臥梁(がりょう)、妻壁上部を鉄筋コンクリート造とする。地域色豊かな石造倉庫で現在はいずれも飲食店や宿泊施設として活用。 | 産業1次 | 建築物 | 1 |
| 37 | 旧吉田村農業協同組合東倉庫(吉田村Village東棟) | | S中期／R5改修 | | 産業1次 | 建築物 | 1 |
| 38 | 旧長島家住宅主屋 | 埼玉県熊谷市 | E後期／S20頃増築、同50頃・H2改修 | 荒川右岸の水田地帯にある名主の屋敷。主屋の周囲に米蔵、前蔵、裏蔵を配し、主庭の入口に木戸門を建て、表門、長屋塀、石塀が広大な屋敷地を画す。主屋は広い土間と田の字型間取りの西に角座敷を設けて上段の間とし、旧家の風格を示す。米蔵、前蔵、裏蔵は大谷石を用いた二階建の石造蔵でいずれも大正時代の建築。主屋と同時期の表門、木戸門、長屋塀に加え、大谷石を用いた長大な石塀とともに集落の歴史的景観をつくる。現在は埼玉銀行の頭取であった、故長島恭助の記念館として公開活用。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 39 | 旧長島家住宅米蔵 | | T9頃／S60頃改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 40 | 旧長島家住宅前蔵 | | T9／H4改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 41 | 旧長島家住宅裏蔵 | | T3頃 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 42 | 旧長島家住宅表門 | | E後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 43 | 旧長島家住宅木戸門 | | E後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 44 | 旧長島家住宅長屋塀 | | E後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 45 | 旧長島家住宅外塀 | | T9頃 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 46 | 旧陸軍高射砲第二連隊照空予習室 | 千葉県柏市 | S13頃／S42改修 | 柏市の旧陸軍高射砲第二連隊跡に建つ防空訓練施設。建物内部は航空機の像を投影して照空灯の操作を訓練。屋上は距離測定のための訓練所で西面に残るクレーン支柱は測遠機の昇降用。特殊な用途の旧軍施設の遺構として貴重。現在は柏市所有で活用を検討中。 | 官公庁舎 | 建築物 | 3 |
| 47 | 東京地下鉄丸ノ内線四ツ谷跨線橋 | 東京都千代田区、新宿区 | S34 | 丸の内線の四ツ谷跨線橋はJR中央線等を跨ぎ、丸ノ内線々路及び四ツ谷駅を支える。特殊な構造で、JR線の見通しを確保。御茶ノ水橋梁は、神田川を跨ぐ丸ノ内線の橋。桁高を抑えた函形の主桁で地下鉄に貴重な車窓景観を確保。御茶ノ水駅出入口上家の設計は土橋大野建築設計事務所。白色の外観で、水平連続窓を配したモダニズム建築の好例。 | 交通 | 土木 | 1 |
| 48 | 東京地下鉄丸ノ内線御茶ノ水橋梁 | 東京都千代田区、文京区 | S30 | | 交通 | 土木 | 1 |
| 49 | 東京地下鉄丸ノ内線御茶ノ水駅出入口上家(うわや) | 東京都文京区 | S28 | | 交通 | 建築物 | 2 |
| 50 | 東京地下鉄銀座線浅草駅4番出入口上家 | 東京都台東区 | S6頃 | | 吾妻橋に近い交差点に建つ出入口上屋。反りのある屋根など日本趣味を採用した公共建築の好例。 | 交通 | 建築物 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 | |
|----|--------------------|-----------|----------------------------------|---|---|------|-----|---|
| 51 | 梅村家住宅(旧山崎家住宅)主屋 | 東京都文京区 | S2/S5増築、R2改修 | 東京大学本郷キャンパスの西の住宅地に位置する企業経営者が建てた住宅。西端の増築二階の座敷には高欄を廻らし南庭を望む。閑静な住宅街に残る近代和風住宅で、同時期の門と一体で歴史的景観を形成。 | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 52 | 梅村家住宅(旧山崎家住宅)門 | | S前期 | | 住宅 | 工作物 | 1 | |
| 53 | 旧柏湯 | 東京都台東区 | S26/H5改修 | 谷中に位置する旧銭湯。旧浴場は上部中央を立上げて高窓とする。昭和初期から流行した宮造り銭湯の遺例。現在はギャラリーとして活用。 | 文化福祉 | 建築物 | 1 | |
| 54 | 旧川端龍子(りゅうし)邸主屋及び中門 | 東京都大田区 | S26/S29増築、H15改修 | 南馬込の住宅地に位置する日本画家川端龍子(りゅうし)の住宅と作品展示用の記念館。通りを挟んで北側敷地に主屋及び中門、仏間棟、持仏堂を東西に並べ、その北に画室を配し、南側敷地に龍子記念館が建つ。いずれも龍子が設計に関与。主屋は東側に中門を延ばし、北の画室への出入口とする。外壁腰の竹の木賊張りや壁から天井縁まで塗り廻した独創的な客間など内外に意匠を凝らす。仏間棟は、洗練された意匠の持仏鑑賞室となる17畳半畳敷を配し、持仏を納めた持仏堂は外観和風を基調とし、内部は尖頭のヴォールト天井とした独創的意匠。画室は内部一室の板敷で、大作制作を主とした龍子らしい開放的な大空間。現在は大田区立龍子公園として公開。角地に建つ記念館は、青瓦の宝形造り屋根に竜舌蘭の宝珠を載せ、地域のランドマーク的な存在。現在は大田区立龍子記念館として公開。 | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 55 | 旧川端龍子邸仏間棟 | | S30 | | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 56 | 旧川端龍子邸持仏堂 | | S30頃 | | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 57 | 旧川端龍子邸画室 | | S13 | | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 58 | 龍子記念館 | | S37/H3・同23改修 | | 文化福祉 | 建築物 | 1 | |
| 59 | 富澤家住宅主屋 | 東京都足立区 | T前期/S前期増築、H21改修 | 荒川右岸の柳原に位置する旧米問屋の住宅。平屋一部二階建てで、庭に面して2室続きの座敷を配し縁を廻らす。正面に格子構えなど残し、地域の歴史的景観を形成。 | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 60 | 梅田家(沖五郎)住宅石倉及び外便所 | 東京都新島村 | S24頃 | 本村東側に位置し、コーガ石(せき)という新島産の軽石を用いた石造の倉と外便所。二階には座敷を配したいわゆる蔵座敷。通りに面して建ち、地域の歴史的な景観を形成する。 | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 61 | 紀野家住宅主屋 | | S23頃 | | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 62 | 紀野家住宅釜屋形 | | S前期/S23頃・同40頃改修 | | 取りや石葺屋根など新島の伝統的民家の特徴をよく伝える。釜屋形はかつてヴォールト状屋根であったことがわかる貴重な遺例。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 63 | 旧前田家(キンデー)住宅釜屋形 | | T前期 | | 役場前の屋敷に位置する釜屋形。コーガ石を用いた石造の釜屋形で独立した形式を良く残す。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 64 | 小久保家住宅主屋 | | T9頃 | | 本村中心部に位置する漁家(ぎょか)の主屋。寄棟造石葺で棟中央に煙出を設ける。瓦状に加工した石葺など新島の伝統的民家の特徴をよく残す。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 65 | 旧石田家国府津(こうづ)別邸主屋 | 神奈川県小田原市 | T13/S50頃改修 | 鉄道開通後に別荘地となった国府津(こうづ)に位置する旧国鉄総裁の別邸の主屋と洋館。主屋は、床(とこ)など自由な造形をみせる上質な近代和風建築。洋館は瀟洒な山小屋風の建物。戦前の別荘建築の好例。 | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 66 | 旧石田家国府津別邸洋館 | | S16 | | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 67 | 旧澤良商店店舗兼主屋 | 神奈川県秦野市 | T15 | 秦野(はだの)の龍門寺参道入口に建つ元乾物青果商の店舗兼主屋と土蔵。店舗兼主屋は一階は全体を土間床、北西にかつてのバス待合所であった事務所を附属。土蔵は旧商品蔵兼家財蔵。秦野の賑わいを伝える商家遺構。 | 産業3次 | 建築物 | 1 | |
| 68 | 旧澤良商店土蔵 | | M前期/M中期移築、T後期改修 | | 産業3次 | 建築物 | 1 | |
| 69 | 立花屋茶舗店舗兼主屋 | | 慶応元(1865)頃/M後期改修、S2移築、同10・同45頃増築 | | 秦野の台町交差点北に位置する茶商の店舗兼主屋と土蔵2棟。主屋はつし二階建切妻造の町家。二階には昭和10年に東久邇宮(ひがしくにのみや)宿所とした座敷を配す。店舗の東背後に建つ左の蔵と右の蔵はいずれも商品蔵兼家財蔵で、二階床に格子付の荷上口を備える。茶商の構えが秦野の歴史的な景観を形成する。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 70 | 立花屋茶舗左の蔵 | E末期 | 産業3次 | 建築物 | 1 | | | |
| 71 | 立花屋茶舗右の蔵 | M41/T後期改修 | 産業3次 | 建築物 | 1 | | | |
| 72 | 保全堂薬局店舗兼主屋 | 神奈川県伊勢原市 | S3/S40代改修 | 秦野の本町四ツ角交差点の南に位置する薬局の店舗兼主屋。二階洋室は地域の集會に使用したと伝わる。タイル貼など改変あるが、セセッション風意匠を用いた外観が残る愛らしい店舗。 | 産業3次 | 建築物 | 1 | |
| 73 | 大山寺(おおやまでら)本堂 | | M18/S42改修 | | 名山の大山(おおやま)中腹に建つ真言宗寺院の本堂。正面軒唐破風付向拝(こうはい)は木鼻の龍を始め彫刻が横溢し圧巻。 | 宗教 | 建築物 | 2 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|----|--------------------------------|-------------|-------------------------|---|--|-----|-----|
| 74 | 旧平野家住宅主屋 | 神奈川県三浦郡葉山町 | S11 / S13 増築、R2改修 | 葉山の行幸通り沿いに位置する材木商の住宅。座敷の床廻りに銘木が用いられ、葉山に築かれた郊外住宅の好例。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 75 | 山月庵 | 神奈川県足柄下郡箱根町 | S25 | 世界救世教(せかいきゅうせいきょう)教祖の岡田茂吉が造営した神仙郷(しんせんきょう)内にある茶室の山月庵、伝統芸能鑑賞用の日光殿(旧早雲寮)、収集美術品を公開する箱根美術館本館、別館及び休憩所。山月庵は数寄屋大工第三代木村清兵衛(せいべえ)による近代数寄屋の佳品。日光殿(旧早雲寮)は吉田五十八設計の旧広間を増築。床構え付きの大広間を配して南庭を望む大規模な戦後の和風建築。箱根美術館本館は中央に聳える三階塔屋に貴賓室を設けて景色と共に名品を鑑賞する。別館は所蔵品に合わせて東洋趣味を加えた建物。休憩所は深い軒を水平に巡らし、全体に簡素な意匠として庭園の眺望に配慮。 | 文化福祉 | 建築物 | 2 |
| 76 | 日光殿(旧早雲寮) | | S24 / S26増築、H11・R3改修 | | 文化福祉 | 建築物 | 2 |
| 77 | 箱根美術館本館 | | S27 / S56・H7改修 | | 文化福祉 | 建築物 | 1 |
| 78 | 箱根美術館別館 | | S28 / S中期・同56頃改修 | | 文化福祉 | 建築物 | 1 |
| 79 | 箱根美術館休憩所 | | S27 / S56改修 | | 文化福祉 | 建築物 | 1 |
| 80 | 蔵春閣 | 新潟県新発田市 | M45 / S33・同53・R5移築 | 大倉喜八郎が建てた旧向島別邸の迎賓館。広間天井の蜀江組格天井など、随所に技巧を凝らした絢爛豪華な接客施設。現在は喜八郎の郷里の新発田市に移築し、公開活用。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 81 | 杉原家住宅主屋 | 新潟県新発田市 | M32 / S30改修、同35増築、H30改修 | 会津街道の赤谷(あかだに)宿に位置する旧家の主屋と土蔵。主屋は桁行長大で広間は豪壮な梁組を現す。土蔵は重厚な外観が敷地内の景観をつくる。現在は杉原家の歴史を示す展示室として活用。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 82 | 杉原家住宅土蔵 | | M18 / S4増築、H30改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 83 | 二王子(にのうじ)神社本殿・幣殿及び拝殿 | | S42 | | 新発田市街地南東の霊山二王子(にのうじ)岳の中腹に位置する神社の本殿・幣殿及び拝殿。内部は一室とし、上・下拝殿及び幣殿を段差を設けて階段上に並べる。側廻りは軒柱が巡る壮大な外観の社殿。 | 宗教 | 建築物 |
| 84 | 保阪家住宅主屋 | 新潟県上越市 | S24 | 戸野目の雁木通り中央に位置する地主の屋敷。敷地中央に主屋、西に離れ、北に道具蔵、南東に温室を配す。主屋は切妻屋根を重ねた外観が敷地景観をつくる。離れは西に縁を介して深い土縁を付した雪国らしい離れ。道具蔵は土蔵2棟を曳家し一体化した大規模なもの。温室は当主の園芸趣味用に建てたもの。ガラス葺とした珍しい外観が屋敷景観をつくる。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 85 | 保阪家住宅離れ | | M42 / S24増築 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 86 | 保阪家住宅道具蔵 | | 文政9(1826) / M42移築、H20改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 87 | 保阪家住宅温室 | | S中期、S59頃改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 88 | 怡顔亭(いがんてい) | | M45 / S中期改修 | | 戸野目の雁木通り中央に位置する地主が建てた客殿。入母屋造平入棧瓦葺で正面に銅板葺唐破風玄関を付す。大振りな玄関が目目を惹く良質な近代和風建築。 | 住宅 | 建築物 |
| 89 | 旧若林医院日本館 | 新潟県佐渡市 | T2頃 | 小倉川北岸の角地にあるかつての医院。日本館は南面に大小の玄関を設け、内部は北東を土間の診療室とし、二階には座敷を3室配す。ガラス戸を多く用いた外観が特徴的。西洋館は北妻窓上部の軒を切上げ切妻破風を付し、一階に和室、二階に洋室を配す。通りに面したスティックスタイルの外観が地域景観をつくる。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 90 | 旧若林医院西洋館 | | T2頃 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 91 | 金沢大学医学類旧書庫(旧制金沢医科大学附属図書館書庫) | 石川県金沢市 | T15 / S60改修 | 金沢城跡南東にあった旧制金沢医科大学及び旧制金沢医学専門学校の建築遺構群。現在は金沢大学宝町キャンパス内に位置し、医学類の施設として活用。旧書庫は、鉄筋コンクリート造三階建て。各間に縦長窓を配し、外観に変化をつける。解剖標本庫は鉄筋コンクリート造平屋建て。外壁スクラッチタイル貼。内部は一室の土間で標本を陳列した木製棚を並べ圧巻。病理標本庫は窓廻りに煉瓦を貼り、簡素ながらも整然とした意匠。西面南旧正門及び煉瓦塀と北煉瓦塀は旧制金沢医学専門学校時代の貴重な遺構で、通りに沿って歴史的景観をつくる。 | 学校 | 建築物 | 1 |
| 92 | 金沢大学医学類解剖標本庫(旧制金沢医科大学解剖学標本庫) | | S9 / S61改修 | | 学校 | 建築物 | 1 |
| 93 | 金沢大学医学類病理標本庫(旧制金沢医科大学病理学標本庫) | | T15 / S60改修 | | 学校 | 建築物 | 1 |
| 94 | 金沢大学医学類(旧制金沢医学専門学校)西面南旧正門及び煉瓦塀 | | M45 | | 学校 | 工作物 | 1 |
| 95 | 金沢大学医学類(旧制金沢医学専門学校)西面北煉瓦塀 | | M45 | | 学校 | 工作物 | 1 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|--------------------|--------------------|---------------------|---|---|-----|----|
| 96 | 旧石川家住宅主屋 | 石川県金沢市 | S4 | 金沢城跡南東に位置する退役陸軍大佐の住宅で主屋と門及び土塁からなる。主屋は正面を幾何学的意匠の妻飾と出窓で飾る上質な和洋折衷住宅。門及び土塁とともに昭和初期開発の住宅地の景観を留める。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 97 | 旧石川家住宅門及び土塁 | | S4頃 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 98 | 旧第四高等中学校門衛所 | | M26/T8改修、S42移築、R5改修 | 重要文化財旧第四高等中学校本館の南西に位置する門衛所。本館より2年後の明治26年建築。外壁下見板張とし、上下(あげさげ)窓を開けた洋風意匠で、本館とともに歴史的な景観を形成する。 | 学校 | 建築物 | 1 |
| 99 | 三浦家住宅主屋 | | S20/S32増築 | 金沢の東山に位置する老舗金箔製造業者の自邸で主屋と土蔵。主屋は昭和20年の建築で昭和32年の増築棟は地元建築家の大屋兼太郎の設計。近代数寄が加わった良質な和風住宅。土蔵は金沢らしく、基礎を赤戸室石の亀甲積とし、浅野川沿いの景観をつくる。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 100 | 三浦家住宅土蔵 | T5頃/S20増築 | 住宅 | | 建築物 | 1 | |
| 101 | 旧松亭(しょうてい)蔵座敷 | 山梨県甲府市 | T7/R3改修 | 甲府旧城下の魚町通りに位置するかつての料亭で蔵座敷、土蔵、稲荷社からなる。蔵座敷は外壁は塗込めて黒漆喰仕上、黒檀(こくたん)の框など吟味した材を用いる。土蔵はかつての家財蔵。入隅に戸口と窓が並んだ特徴ある外観。現在はイベントスペースとして活用。稲荷社は一間社流造りの屋敷神。懸魚(げぎょ)に透彫りの彫刻を付した華やかな社殿。 | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 102 | 旧松亭土蔵 | | M44/R元改修 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 103 | 旧松亭稲荷社 | | M24 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 104 | 大鷹丸(おおがんまる)家住宅主屋 | 山梨県富士吉田市 | M前期/H28改修 | 上吉田の南東部に位置する御師(おし)住宅の主屋。明治前期の建築で、平屋建て切妻造り平入り。式台や整った座敷を備え、富士講宿泊の様相を留める。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 105 | 富野家住宅主屋 | | E後期/S中期改修 | 上吉田の中央部西側に位置する御師住宅の主屋と中門。主屋は平屋建て切妻造り妻入り。座敷とともに北東に御神前(ごしんぜん)を祀るなど御師住宅の平面をよく残す。中門は、簡素ながらも丁寧な造りで、御師住宅の構えを整える。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 106 | 富野家住宅中門 | | T前期 | 住宅 | 工作物 | 1 | |
| 107 | 旧料亭角田(かくだ)主屋 | | S3/S中期改修 | 下吉田の月江寺(げっこうじ)参道に西面する旧料亭の主屋と脇門。主屋は正面に軒唐破風に千鳥破風を重ね、座敷は出節(でぶし)の極太床柱、折上格天井など豪壮。欄間に梅の透彫を入れて飾る脇門とともに料亭の華やかさを伝える。 | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 108 | 旧料亭角田脇門 | | S3頃/S30代移築 | 産業3次 | 工作物 | 1 | |
| 109 | 柴田家住宅(旧清水家住宅)土蔵 | 山梨県南アルプス市 | S5頃/H30改修 | 中世城館の椿(つばき)城跡南方の集落に位置する農家の土蔵。下屋内には北に味噌蔵、南に外便所を設けるなど、農家らしい土蔵。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 110 | 迎賓館えびす屋(旧望月家住宅主屋) | 山梨県南巨摩郡身延町(みのぶちょう) | S7/R2改修 | 日蓮宗総本山久遠寺の門内(もんない)に位置する旧家の洋館付き和風住宅。座敷は西と南に縁を廻らしガラス戸を建て、洋館は西に出窓を開けて、庭園を望む近代和風住宅。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 111 | 加茂神社本殿 | 長野県長野市 | 慶應4(1868) | 善光寺の南西に位置する神社。境内の東西軸線上に西から上屋内に本殿を安置し、祝詞殿、拝殿が並ぶ。本殿は小規模な一間社流れ造り、板葺きで軒唐破風上部に千鳥破風を付す。向拝中備えには龍の彫刻を入れ華やかに飾る。上屋は一間社流造りの形式で本格的なつくりの覆屋。拝殿及び祝詞殿は入母屋造り平入り茅葺き(銅板仮葺き)で向拝廻りを彫刻で飾った華やかな社殿。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 112 | 加茂神社上屋(うわや) | | 嘉永7(1854)/M7改修 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 113 | 加茂神社拝殿及び祝詞殿 | | M7/M前期・同18増築、R2改修 | | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 114 | 旅館すぎもと松軒楼(しょうけんろう) | 長野県松本市 | S8/S28・同38・H5改修 | 松本城北東の美ヶ原(うつくしがはら)温泉に位置する旅館本館。二・三階は高欄付きの窓が並び、坂沿いの温泉街の歴史的景観を形成する。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 115 | 前山寺(ぜんさんじ)本堂 | 長野県上田市 | E中期/E後期改修 | 上田市南西の独鈷山(とっこさん)北麓に位置する真言宗寺院。境内下段に本堂、庫裏及び玄関、山門を配し、上段に重要文化財の三重塔が建つ。本堂は寄棟造り茅葺き。唐破風造り向拝は雲竜彫刻で飾る大型の本堂。庫裏は建ちの高い妻面には三段に重ねた梁と束、貫を現す。玄関は妻飾の大瓶束に大振りな笈形を付すなど豊かな装飾と格式を備える。山門は木太く、質実なつくり。古刹の境内の表構えを整える。 | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 116 | 前山寺庫裏 | | 文政13(1830)/H13改修 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 117 | 前山寺玄関 | | E末期/H13改修 | | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 118 | 前山寺山門 | | E後期/S8移築 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 119 | りんどう橋 | | M中期/S3・H19移築 | | 信濃川水系内村川に架かる人道橋。ボーストリングトラス形式の鋼製単トラス桁橋。明治中期に輸入したドイツ国ハーコート社製の貴重な遺構。 | 交通 | 土木 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 | |
|-----|-----------------------|-------------------|---------------------|--|---|------|-----|---|
| 120 | 桃澤家住宅主屋 | 長野県上伊那郡飯島町(いじままち) | E後期／M後期増築、S30頃・R元改修 | 天竜川沿いの農村集落に位置する旧家の主屋。切妻造り平入り鉄板葺き。式台や上座敷を構え、大規模な切妻造り屋根が旧家の格式を示す。 | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 121 | 恵比寿屋原家住宅主屋 | 長野県上伊那郡宮田村 | E後期／S中期改修 | 伊那街道の宮田宿に所在する旧旅籠の主屋と土蔵。主屋は中土間を通して、南北列に部屋を配した大型町家。同時期の土蔵とともに宿場町の様相を伝える。 | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 122 | 恵比寿屋原家住宅土蔵 | | E後期 | | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 123 | 京口屋墨矢家住宅主屋 | | M23頃／S40代改修 | | 伊那街道の宮田宿に所在し、旧料理屋を営んだ主屋。二階は通りに面して座敷を配し手擦りを付し、宿場の賑わいを伝える町家。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 124 | 北の城橋 | | S34／H20・R4改修 | | 天竜川の伊那峡に架かる道路橋。台風被害後の災害復旧事業で昭和34年に建設。橋長60メートルの単径間鋼製補剛吊橋で、天竜川上流に架かる現存最古。 | 交通 | 土木 | 1 |
| 125 | 南宮大社斎館北棟 | 岐阜県不破郡垂井町 | S36 | 南宮大社境内東端に西面して建つ婚礼施設の斎館4棟。婚礼及び披露宴用の北棟、着付けや神職の潔斎用の南棟、披露宴の炊事用の御炊屋、北と南棟を連絡し、南庭を囲う回廊からなる。北棟は、二階を儀式殿の間とし、格天井を張り、祭壇廻りを鍔金具で荘厳した華やかな婚礼施設。同時期の南棟は座敷境の欄間を透彫とし、婚礼の華やかさを演出。御炊屋は同規模の部屋を東西に2室並べた炊事施設。回廊は西面に開けた連子窓を開け、斎館の表構えを整える。 | 宗教 | 建築物 | 2 | |
| 126 | 南宮大社斎館南棟 | | S36頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 127 | 南宮大社斎館御炊屋 | | S36頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 128 | 南宮大社斎館回廊 | | S36頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 129 | 古橋家住宅主屋 | 静岡県静岡市 | S3頃／S31頃改修 | 静岡浅間神社の北西の市街地に位置する住宅の主屋。南西に切妻造玄関ポーチを付し、ハーフティンバーの外観が地域の歴史的景観を形成する和洋折衷住宅。 | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 130 | 加藤学園暁秀(ぎょうしゅう)初等学校本館 | 静岡県沼津市 | S47／H17・R3改修 | 沼津駅北東の市街地に位置する現役の学校校舎。設計は楨総合計画事務所。教室は当初は絨毯敷きの床で可変間仕切を用いて開放性を高めるなど、日本初のオープンプランスクールを実現。 | 学校 | 建築物 | 2 | |
| 131 | 大橋酒店奥蔵 | 静岡県磐田市 | M27／H18改修 | 見付宿(みつけじゅく)に位置する酒屋の土蔵2棟。商品収蔵用の奥蔵は外壁の腰を簾子(ささらこ)下見板張り及び海鼠壁。文庫蔵の新蔵は外壁に水切を三段付し、腰の伊豆石張で意匠を整える。酒屋の屋敷構えを形成する。 | 産業3次 | 建築物 | 1 | |
| 132 | 大橋酒店新蔵 | | M30／R元改修 | | 産業3次 | 建築物 | 1 | |
| 133 | 句阪(さぎさか)家住宅(鶴屋本店)隠居部屋 | | T12 | | 見付宿に位置する味噌醤油醸造元の隠居部屋と文庫蔵。隠居部屋は座敷の平書院の下地窓など瀟洒な意匠を取入れた近代和風住宅。文庫蔵は1階は食器、2階は布団衣類、3階は文書道具を収納。見付宿の歴史的な景観に寄与する三階建土蔵。 | 産業2次 | 建築物 | 2 |
| 134 | 句阪家住宅(鶴屋本店)文庫蔵 | | T6 | | 産業2次 | 建築物 | 1 | |
| 135 | 大目(おおま)神社本殿 | 愛知県瀬戸市 | 文化 2(1805)／S52改修 | 赤津の大目森(おおまもり)と呼ばれる小高い丘の上に位置する神社本殿。三間社流造り銅板葺きで、正面柱間は吹放ち、柱筋から北に寄せて幣軸構えとする形式で、当地域の特徴を示す本殿。 | 宗教 | 建築物 | 2 | |
| 136 | 旧中塾(なかの)半六邸主屋 | 愛知県半田市 | M22頃／S26頃・H27改修 | 半田運河沿いに位置し、醸造業などで栄えた商家の主屋。主体部二階は南西に2室続きの座敷を配し、二畳床を構えるなど大胆な意匠とした上質な近代和風の住宅。 | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 137 | 間瀬家住宅(作右衛門屋敷)主屋 | | M17頃／S7増築、R5改修 | 師崎(もろぞき)街道の大川曲げ場に面し、廻船問屋と材木商で栄えた商家の主屋と土蔵。主屋は明治17年建築で昭和7年増築の座敷は数寄屋造り風。土蔵は窓少なく重厚な外観とし、旧家の屋敷構えを形成。 | 住宅 | 建築物 | 2 | |
| 138 | 間瀬家住宅(作右衛門屋敷)土蔵 | | M中期 | | 住宅 | 建築物 | 1 | |
| 139 | 鳴海杵(なるみてがし)神社本殿 | 愛知県犬山市 | T6 | 犬山市の五条川南岸に位置する式内社。境内北に本堂が建ち、南北軸線上に祭文殿、拝殿、藩塀(ばんべい)、社務所が並び、参道入口の西に弁天堂が池沿いに建つ。本殿は正面に千鳥破風、向拝に軒唐破風を付す複雑な屋根構成。随所に彫刻を施した意匠優秀な本殿。祭文殿は南北棟の前面両脇に棟を直交して東西棟を付した変化のある屋根で、社頭景観をつくる。拝殿は四周を吹放ちとした軽快な建物ながら基壇上に建つ堂々たる姿。社務所は簡素な意匠ながら、境内入口脇の景観を引き締める。弁天堂は境内最古の堂宇で湧水池に浮かぶ点景。藩塀は尾張地方独特の目隠し塀で、境内の歴史的景観をつくる。 | 宗教 | 建築物 | 2 | |
| 140 | 鳴海杵神社祭文殿 | | T6頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 141 | 鳴海杵神社拝殿 | | T6頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 142 | 鳴海杵神社社務所 | | T6頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 143 | 鳴海杵神社弁天堂 | | 元治2(1865) | | 宗教 | 建築物 | 1 | |
| 144 | 鳴海杵神社藩塀 | | T6頃 | | 宗教 | 工作物 | 1 | |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|--------------------------|--------|---------------------|---|------|-----|----|
| 145 | 久野(くの)家住宅(愛山居)主屋 | 愛知県東海市 | T14 / S5 頃 増築、同47改修 | 伊勢湾東岸の丘陵地に建つ郊外住宅で、敷地内に主屋と門柱、庭門を配す。主屋の設計は西村伊作。各階にベランダを配し一階柱間にアーチを飾る。独特な外観などに西村らしい意匠がみとれる。門柱は扁平な玉石を用いた独特な意匠とし、庭門はコンクリート製の擬木を用いた特異な形式で、敷地内景観のアクセントとなる。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 146 | 久野家住宅(愛山居)門柱 | | T後期 | | 住宅 | 工作物 | 3 |
| 147 | 久野家住宅(愛山居)庭門 | | T後期 | | 住宅 | 工作物 | 3 |
| 148 | 守隨家(しゅずいけ)住宅(旧山田家住宅)石積護岸 | | T前期 / S48・R4改修 | 聚楽園公園北西に位置し、実業家が伊勢湾岸に造成した埋立地を囲う石積の護岸。目地幅の広い特徴的な外観を呈する。服部長七の考案にかかる人造石(じんぞうせき)工法の貴重な遺例。 | 治山治水 | 土木 | 3 |
| 149 | 牛田八幡社本殿 | 愛知県知立市 | E中期 | 東海道沿いを流れる猿渡川北岸に位置する神社。境内の南北軸線上に北から本殿と本殿を安置する覆殿、中殿及び袖廊、拝殿が並ぶ。本殿は覆殿内にある一間社流造りこけら葺き。軸部や組物に塗装、彩色を残し、整った意匠とする。覆殿は、入母屋造り棧瓦葺き、正面に一間向拝を付す。本格的な本殿形式の構成になる覆殿。中殿及び袖廊はT字平面で正面の虹梁廻りや妻飾に、龍や虎、鶴の彫刻を密度高く配する。拝殿は入母屋造り棧瓦葺きで南面の虹梁上や組物間など彫刻で飾った華やかな拝殿。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 150 | 牛田八幡社覆殿(おおいでん) | | 安政3(1856)頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 151 | 牛田八幡社中殿及び袖廊 | | M42 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 152 | 牛田八幡社拝殿 | | M15 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 153 | 清風亭(せいふうてい)玄関棟 | 三重県名張市 | T3 / S39・H10改修 | 名張市街地南方の鍛冶町にある料理旅館の玄関棟と客室棟。通りに面した玄関棟は、格子構えの外観が通りの景観をつくる。名張川沿いに面する座敷棟は二階を大人数の宴席も対応可能な広間とし、時代相を示す。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 154 | 清風亭客室棟 | | T3 / S39・H26改修 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 155 | 星家住宅主屋 | 三重県伊賀市 | M40頃 | 上野旧城下町の辻角に位置する主屋。一階は出隅に格子を廻らし、二階は真壁で格子窓を開ける。角地の入母屋造り屋根が目惹く町家。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 156 | 江北(こほく)図書館(旧伊香郡農会庁舎) | 滋賀県長浜市 | S12 | 木ノ本駅前位置するかつての伊香郡農会の公会堂。半円アーチ付き縦長窓とバットレスが並ぶ陰影深い外観が印象的。現在は図書館として活用。 | 文化福祉 | 建築物 | 1 |
| 157 | 旧京都府警察本部本館(文化庁京都庁舎本館) | 京都府京都市 | S3 / R4改修 | 京都府庁日本館の東に建つ旧警察本部本館。タイル貼りで平滑に仕上げた簡明な外観としつつ、玄関廻り内外をアーチやステンドグラスで飾り、格調を高めた上質な庁舎建築。 | 官公庁舎 | 建築物 | 2 |
| 158 | 旧井関家住宅(青柳家住宅)主屋 | | E末期 / M中期・R3改修 | 西陣の寺之内通りに北面する主屋。南の土間上部を吹抜とした織屋(おりや)建て形式の平面を残す。西陣にあって江戸時代の織屋の様相を示す貴重な町家。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 159 | 東福寺本堂 | | S9 | 東山に位置する臨済宗東福寺派大本山寺院。明治14年の火災で焼失した伽藍の再建は、明治23年の方丈、唐門の建立から始め、方丈を囲む恩賜門及び築地塀、庫裏、通天橋の南に延びる南歩廊、その北に延びる北歩廊を建立後、昭和9年に本堂が竣工した。その後、伊勢湾台風で被災した通天橋及び通天台、通霄門を再建した。本堂は、壇上積基壇に建つ一重入母屋造り本瓦葺き裳階(もこし)付。規模壮大な近代屈指の仏堂。方丈は桁行7間梁間4間半と広大な室中を有する。規模雄大で上質な明治期屈指の方丈。通天台は通天橋を眺める展望台。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 160 | 東福寺方丈 | | M23 / M43 頃 増築 | 小規模ながら方丈北西の姿を印象付ける。庫裏は式台玄関、脇玄関を付し、大規模な切妻造り屋根が伽藍中枢の雄大な景観をつくる。恩賜門は檜皮葺の唐門で、設計は亀岡末吉。菊紋付扉を吊り、繊細な透彫で飾る華麗な門。唐門は本瓦葺きで全体に装飾少なく簡素ながら整った意匠。方丈周囲は折れ曲がり総延長78メートルの築地塀が廻り、伽藍景観を整える。通天橋は鉄筋コンクリート造橋脚を懸造り状に構築し、上部を歩廊とする。北歩廊北東高台にある塔頭常楽庵を結ぶ登廊の北歩廊、南の本堂に至る南歩廊とともに木柄の細い列柱が、軽快さを演出する。通霄門は南歩廊の南寄りに開く鉄筋コンクリート造と木造の混構造の門。歩廊と一体となり、雄大な伽藍景観をつくる。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 161 | 東福寺通天台 | | S36頃 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 162 | 東福寺庫裏 | | M43 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 163 | 東福寺恩賜門 | | M42 | | 宗教 | 工作物 | 2 |
| 164 | 東福寺唐門 | | M23 / M42 頃 増築 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 165 | 東福寺方丈築地塀 | | M42頃 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 166 | 東福寺通天橋(つうてんきょう) | | S36 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 167 | 東福寺通天橋北歩廊 | | T元 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 168 | 東福寺通天橋南歩廊 | | M44 / S38改修 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 169 | 東福寺通霄門(つうしょうもん) | | S38 | | 宗教 | 工作物 | 1 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|---------------------------------------|------------|---------------------------------|---|------|-----|----|
| 170 | 立売堀(いたちぼり)ビルディング | 大阪府大阪市 | S3/S中期改修 | 四つ橋筋に東面するオフィスビル。外観は柱形が垂直性を高め、柱頭にセセッション風レリーフを配す。大正後期に拡幅した四つ橋筋の歴史的な景観をつくる。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 171 | 大阪ガスビルディング北館 | | S41/H18改修 | 御堂筋に面し、安井武雄設計の南館(昭和8年竣工)の増築棟。大胆に変更した柱割が新旧の区別と全体の調和を生みつつ、端正な南館の意匠を継承する。御堂筋の象徴的なオフィスビル。 | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 172 | 御堂(みどう)ビルディング | | S40 | 御堂筋と本町通の交差点角に建つオフィスビル。設計は竹中工務店設計部。単窓を繰返した壁面に茶、灰、土の3色の磁器タイル貼で格調高い外観に仕上げる。 | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 173 | 河野家(かわのけ)住宅主屋 | 大阪府和泉市 | 嘉永4(1851)/M後期増築、S前期・同55頃改修 | 松尾川沿いの農村集落に位置する旧家の屋敷。敷地中央北寄りに主屋を南面して建て、通りに沿った東辺に主屋と同時期建築の表門及び座敷、表土蔵、裏門、北辺に裏土蔵東棟、西棟を配す。主屋は茅葺(鉄板仮葺)の大和棟。式台や広い仏間など旧家の格式を備え、大規模で豪壮な民家。表門及び座敷は長屋門で、南に男部屋と座敷を有する。表土蔵は家財蔵腰に海鼠壁を張り、重厚にみせる。裏土蔵西棟は衣装や布団を収納する土蔵。窓少なく閉鎖的で、裏土蔵東棟は家財蔵。軒に鉢巻を廻らし、東妻は腰を海鼠壁とする。裏門は北妻に棧瓦葺下屋を付して門口とし、通りに面して旧家の屋敷構えを整える。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 174 | 河野家住宅表門及び座敷 | | E末期/M後期増築 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 175 | 河野家住宅表土蔵 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 176 | 河野家住宅裏土蔵西棟 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 177 | 河野家住宅裏土蔵東棟 | | E末期/M後期改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 178 | 河野家住宅裏門 | | E末期/M後期改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 179 | 三好家住宅主屋 | 大阪府南河内郡太子町 | 天保3(1832)/M中期増築 | 叡福寺南大門の南東に位置する医家の主屋。東面中央に式台を構え、差鴨居上に家紋付臺股を飾り、医家の格式を伝える。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 180 | 旧尼崎市立高等女学校校舎(尼崎市立歴史博物館・尼崎市立成良中学校琴城分校) | 兵庫県尼崎市 | S13/S41・R2改修 | 尼崎城本丸跡に位置する旧女学校校舎と校門。校舎は装飾を抑えつつ、中央部の車寄庇は太い円柱で支えるなど外観を特徴づける。市内で数少ない戦前期の校舎で城内地区の象徴的存在。校門は表面を粗く仕上げた石貼とし、重厚な外観が城内地区に位置する学校の風格を示す。現在は博物館、中学校分校として活用。 | 学校 | 建築物 | 1 |
| 181 | 旧尼崎市立高等女学校校門 | | S2/R2改修 | | 学校 | 工作物 | 1 |
| 182 | 西正寺(さいしょうじ)本堂 | | 享保7(1722)/E後期増築 | JR塚口駅南東に位置する浄土真宗寺院の本堂。平面は中規模真宗本堂の典型で角柱を1間毎に配するなど古式。集落の中心寺院として歴史的な景観を形成。 | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 183 | 籠家(やのけ)住宅主屋 | 兵庫県伊丹市 | 天保9(1838)/弘化2(1845)・T12増築、S61改修 | 御願塚(ごがづか)古墳の北に位置する旧家の屋敷。敷地北寄りに南面して主屋を建て、方形の敷地を囲うように北辺に衣装蔵、格子の間、穀物蔵、炭納屋を並べ、東辺及び南辺に納屋、米蔵、長屋門を建て、この間を繋ぐように北東塀と南西塀を道に面して建て、敷地周囲を画す。主屋はつし二階建入母屋造り棧瓦葺き。南面に式台を構えた大規模な主屋で集落の歴史を物語る。衣装蔵は護岸上に延石を置いて基礎とし、外壁は漆喰塗で二階窓下まで杉板を目板張とする。格子の間、穀物蔵は本瓦葺の土蔵で、棧瓦葺の炭納屋と棟高を変えつつ連続し、敷地北辺の景観をつくる。敷地南東隅に建つ米蔵、軒下を作業用の犬走とした納屋、長屋門が旧家の表構えを整える。北東塀と明治後期の南西塀が、通りに面して建ち集落の歴史的景観をつくる。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 184 | 籠家住宅衣装蔵 | | T7 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 185 | 籠家住宅格子の間 | | M後期/T7頃改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 186 | 籠家住宅穀物蔵 | | M後期/T7頃改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 187 | 籠家住宅炭納屋 | | M後期/T7頃改修、S30代増築 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 188 | 籠家住宅納屋 | | M後期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 189 | 籠家住宅米蔵 | | M後期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 190 | 籠家住宅長屋門 | | M38/T後期改修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 191 | 籠家住宅北東塀 | | T後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 192 | 籠家住宅南西塀 | | M後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|-------------------|-----------|-------------------------|---|------|-----|----|
| 193 | 篠山小学校一号棟 | 兵庫県丹波篠山市 | S28／S30増築、 H14・同26改修 | 篠山城跡三の丸に位置する小学校の現役校舎。昭和27年から30年に建築した一号から五号の木造二階建て切妻造り椽瓦葺き東西棟の木造校舎と昭和10年建築の鉄骨造平屋建て人工スレート葺き南北棟の講堂。一号棟は敷地北側に位置し、中央に玄関を設ける。防火壁を挟んで東側は昭和28年建築で、西側は昭和30年の増築。東側は南面を上下階を通し、同時期の四号棟とは異なり、出窓が壁面全体としないのが特徴。二号棟は南面を横連窓とし開口を大きくし、窓間と腰を横板張とする。三号棟は南面を横連窓で開口大きく、窓間と腰を横板張とする。四号棟は南面に一列柱を立て出窓をつくる。窓は横長窓で欄間も開けて大きな開口を確保する。五号棟は南面に柱を上下階に通して二列立て出窓とする。窓は欄間付の横連窓で、窓下は引出収納とする。いずれも創意が現れた戦後復興期の学校建築。講堂は外壁はモルタルリシン仕上げで腰はスクラッチタイル貼り、妻壁に起工年である昭和9年の皇紀を示す。控え目ながら整った意匠。 | 学校 | 建築物 | 1 |
| 194 | 篠山小学校二号棟 | | S30／H11・同26 改修 | | 学校 | 建築物 | 1 |
| 195 | 篠山小学校三号棟 | | S29／H11・同26 改修 | | 学校 | 建築物 | 1 |
| 196 | 篠山小学校四号棟 | | S28／H10・同26 改修 | | 学校 | 建築物 | 1 |
| 197 | 篠山小学校五号棟 | | S27／S60・H26 改修 | | 学校 | 建築物 | 1 |
| 198 | 篠山小学校講堂 | | S10／S中期・ H26改修 | | 学校 | 建築物 | 2 |
| 199 | 井上家住宅主屋 | 兵庫県佐用郡佐用町 | 嘉永6(1853)／ S40代改修 | 佐用町(さようちょう)福吉の三叉路南西に位置する旧家の屋敷。敷地中央に南面する主屋の北に穀物蔵、中蔵、帳面蔵を建て、敷地南辺に門を開ける。主屋は寄棟造り茅葺き(鉄板仮葺き)。南面西寄りに式台を構えた大型民家で地域の歴史的景観をつくる。敷地背面の一段上がった場所に穀蔵と家財蔵の中蔵が建ち、北西に帳面蔵が位置し、敷地景観をつくる。門は主屋と同時期建築の腕木門。東西端の南に屋根付袖壁を付した独特な構え。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 200 | 井上家住宅穀蔵 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 201 | 井上家住宅中蔵 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 202 | 井上家住宅帳面蔵 | | E後期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 203 | 井上家住宅門 | | E末期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 204 | 手貝町会所 | 奈良県奈良市 | S14／S51・H13 改修 | 東大寺転害門(てがいもん)の北の住宅地に建つ集会所。内部は40畳の広間を有し、地域住民が親しむ集会所。 | 文化福祉 | 建築物 | 1 |
| 205 | 旧増岡家住宅主屋 | 奈良県宇陀市 | M36／H29改修 | 宇陀松山旧城下町でかつて醤油醸造を営んだ商家の主屋、その背後に建つ離れと土蔵2棟。主屋は二階建て切妻造り平入椽瓦葺き。正面は格子と黒漆喰の虫籠窓(むしこまど)とし出桁で軒を深く出す。離れはガラス戸が並ぶ開放的な外観。敷地中央に建つ内蔵は家財蔵で、離れと一体で敷地中央の景観を形成。外蔵は味噌蔵と米蔵の2棟を一体とした土蔵で、敷地外郭をなす。現在は宿泊施設として活用。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 206 | 旧増岡家住宅離れ | | S前期／H29改 修 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 207 | 旧増岡家住宅内蔵 | | S前期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 208 | 旧増岡家住宅外蔵 | | M後期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 209 | 志磨神社拝殿 | 和歌山県和歌山市 | S19／S42改修 | 和歌山城北東の中ノ島に位置する式内社の拝殿、手水舎及び神門。拝殿は境内北東に位置する入母屋造り平入銅板葺き。臺股や虹梁絵様など整った意匠の拝殿。参道脇に西面する手水舎は方一間、切妻造り椽瓦葺き。簡素ながら洗練された意匠。神門及び袖塀は参道正面に建つ。神門は一間一戸の四脚門で、袖塀は連子格子で腰板壁とする。整った意匠をもつ神門で袖塀とともに境内の景観をつくる。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 210 | 志磨神社手水(てみず)舎 | | S19 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 211 | 志磨神社神門及び袖塀 | | S19 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 212 | 多井家住宅主屋(旧吉田家住宅離れ) | | S24／S30代増築 | 和歌の浦に疎開した医院の旧離れと茶室。離れは東側座敷を下地窓風の丸窓とするなど、数寄屋風意匠とする戦後の良質な和風住宅。茶室は開放的としつつ、天井に網代や杉皮など多彩な材料を用い、控え目ながら繊細なつくり。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 213 | 多井家住宅(旧吉田家住宅)茶室 | | S24／S40代改修 | | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 214 | 旧大石家住宅主屋 | 和歌山県海南市 | E末期／R4改修 | 塩津港で廻船業を営んでいた商家の主屋。表側奥を座敷とし間口半間の床の間を設ける。建ちの低い外観が地域の歴史的景観をつくる町家。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 215 | 岡本家住宅主屋 | 和歌山県橋本市 | 寛政4(1792)／ R4改修 | 岩湧山(いわわきさん)南斜面の農村に所在する旧家の屋敷。敷地北寄りに東面して主屋が建ち、西に離れと土蔵、南に長屋門が位置する。主屋は軸部木太い、大規模な民家。離れは二室続きの座敷を有する。土蔵は重厚な外観で、主屋と一体となって敷地景観をつくる。長屋門は内部は東寄りに高く天井を張った通路を設け、間口大きく旧家の表構えを整える。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 216 | 岡本家住宅離れ | | S40頃 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 217 | 岡本家住宅土蔵 | | S37 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 218 | 岡本家住宅長屋門 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|----------------|------------------------------|------------------|---|---|-----|-----|
| 219 | 辻慶進堂店舗兼主屋 | 和歌山県紀の川市 | S27/S50代改修 | 重要文化財旧名手本陣の向かい、大和街道に北面して建つ印刷業の店舗兼主屋、離れ及び土蔵。主屋は正面両袖に大規模な卯建壁を設け、二階洋室はマントルピースの左右に床と棚を組み合わせるなど独特な和洋折衷の町家。離れは隠居所で座敷は船底天井を張るなど数寄屋風意匠とする。土蔵は道具蔵で離れとともに屋敷構えを構成。 | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 220 | 辻慶進堂離れ | | S37 | | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 221 | 辻慶進堂土蔵 | | S4 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 222 | 旧国鉄紀勢西線紀伊湯浅駅本屋 | 和歌山県有田郡湯浅町 | S2/S35増築、R5改修 | 湯浅の市街地南東に位置する旧駅舎。外壁に縦長上下窓を並べ、戦前期の駅舎建築の様相を伝える洋風駅舎。現在は湯浅町が所有し、飲食・物販施設として活用。 | 交通 | 建築物 | 1 |
| 223 | 興禅寺庫裏 | 和歌山県西牟婁郡上富田町(にしむろぐんかみとんだちょう) | 天保2(1831)/S後期改修 | 富田川南岸の高台に位置する臨濟宗寺院の庫裏。正面妻は連子窓を開け、海老虹梁を架ける。軸部木太く規模雄大な庫裏。 | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 224 | 宇倍神社本殿 | 鳥取県鳥取市 | M31/M41改修 | 稲葉山西南麓に位置する因幡国(いなばのくに)一宮で、本殿、幣殿及び拝殿、神門が軸線上に並び、幣殿から延びる透塀が本殿を囲う。本殿は東面する切妻造り平入り檜皮葺き。全体に装飾を抑え、扉に菊紋を付して荘厳した本殿。拝殿は入母屋造り妻入り檜皮葺き。鋳金具(かざりかなぐ)以外は、全体に装飾を抑えた端正な意匠。透塀は幣殿両脇から後方に延びて本殿を囲い、本殿と一体となって境内の景観をつくる。神門は切妻造り檜皮葺き。かつて一円と五円の紙幣図柄となった門で優美な起り屋根が宇部神社の景観を特徴づける。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 225 | 宇倍神社拝殿 | | M17/H11改修 | | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 226 | 宇倍神社透塀 | | T11/S前期・同48改修 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 227 | 宇倍神社神門 | | T4/S前期改修 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 228 | 加知彌(かちみ)神社本殿 | | 文政13(1830)/S38改修 | | 鹿野(しかの)城跡北方に位置する式内社の本殿、拝殿及び随神門。本殿は切妻造り妻入り銅板葺きで内外陣の前方一間を吹放ち、さらに正面に広い柱間で唐破風造りの一間向拝を付す。大規模で独特な存在感を示す本殿。拝殿は入母屋造り銅板葺き。大振りな唐破風の向拝など、本殿の形式と呼応する拝殿。境内入口に東面して建つ随神門は棟通りを東面側に寄せた変則的な八脚門形式。東間は吹放ちの土間に天井を張り随神の礼拝場とした特徴的なつくり。 | 宗教 | 建築物 |
| 229 | 加知彌神社拝殿 | T10/S中期改修 | 宗教 | 建築物 | | 1 | |
| 230 | 加知彌神社随神門 | 文政13(1830)/S中期改修 | 宗教 | 工作物 | | 1 | |
| 231 | 杉谷神社本殿 | 杉谷神社本殿 | T4/S25改修 | 干拓地の日光の集落東の丘上に所在する神社本殿、幣殿及び拝殿。本殿は一間社流造り銅板葺きで、全体に装飾少なく簡素にまとめる。設計書も備え近代の社殿造営の様相を伝える。拝殿及び幣殿は入母屋造り妻入り椀瓦葺きで本殿に向かう背面上段に幣殿を張出す。本殿と一体的に境内景観を形成する。 | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 232 | 杉谷神社拝殿及び幣殿 | | T5 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 233 | 中原家住宅主屋 | 島根県邑智郡美郷町(おおちぐんみさとちょう) | 文化6(1809)/S15頃増築 | 江の川東岸の集落に位置する旧家の屋敷。南北に長い敷地中央に西面する主屋と南庭を囲って新座敷と門及び塀、道具蔵を配する。主屋は西面に式台と庇付玄関を構え、南東に二階建の角屋を延ばす。北を土間とし上部に太い梁組を現し、南の床は南西に床を構えた座敷を配す。大規模で旧家の風格を示す。離れは江戸末期の建築で、賓客用の座敷棟。角座敷を池に張出し、全体に矩折れの平面。二階座敷など瀟洒なつくり。土蔵は家財蔵で、桁行長大な土蔵で重厚な外観。門及び塀は建築で、主屋と道具蔵の間に建ち、門口に吊る板戸を外開きとした珍しい。旧家の風格ある屋敷構を整える。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 234 | 中原家住宅新座敷 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 235 | 中原家住宅道具蔵 | | 寛政5(1793) | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 236 | 中原家住宅門及び塀 | | 文化5(1808)/T後期改修 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 237 | 長舗(ながしき)家住宅主屋 | 岡山県笠岡市 | E末期/T前期・S49改修 | 神島北東、旧塩田を望む高台に位置する旧家の屋敷で、敷地北に南面する主屋、庭の出入り口の内門、内蔵からなる。主屋は江戸末期の建築で、西寄りを入母屋造り本瓦葺きで三方に下屋を付して鏝(しころ)葺き風。南庭に面して軒を二軒とするなど上質なつくりの主屋。内蔵は一階が穀倉、二階が家財蔵。外壁を漆喰塗仕上で出隅と二階腰を海鼠壁とする。内門は東面する一間一戸の薬医門。丁寧なつくりの門で旧家の格を示す。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 238 | 長舗家住宅内蔵 | | E末期 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 239 | 長舗家住宅内門 | | T前期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|-------------------------------|-------------|-----------------|--|------|-----|----|
| 240 | 山成酒造店舗兼主屋 | 岡山県井原市 | M15/H4改修 | 小田川西岸の角地に位置する造り酒屋。敷地東寄りに店舗兼主屋を建て、北に離れと内蔵、東に蔵、西に東西の仕込蔵を建てる。店舗兼主屋は外壁は漆喰塗りで二階腰に海鼠壁を廻らす。中央北寄りには石敷の通り土間とした間口長大な建物。離れ座敷は東西二室とし、東室は北辺に床と違棚を備えた座敷で上質な離れ。内蔵は家財蔵、蔵は米蔵及び家財蔵で外壁は漆喰仕上でいずれも小規模ながら通りに面し、歴史的な景観をつくる。東仕込蔵は二階建切妻造の南北棟で、北妻の西寄りに試験室を張り出す。西仕込蔵は南に増築棟を延ばし、全体で長大な外観を呈する。大規模な姿が造り酒屋の景観をつくる。 | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 241 | 山成酒造離れ座敷 | | T4 | | 産業2次 | 建築物 | 2 |
| 242 | 山成酒造内蔵 | | M後期/S中期改修 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 243 | 山成酒造蔵 | | M前期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 244 | 山成酒造東仕込蔵 | | M前期/T後期増築 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 245 | 山成酒造西仕込蔵 | | M前期/S中期増築 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 246 | 林家住宅主屋 | 広島県福山市 | M中期 | 鞆城跡北東の角地に位置し、かつて醸造業や廻船業で栄えた商家の町家。二階壁面は広い縁取りの木瓜形(もっこうがた)虫籠窓を並べて腰を海鼠壁とするなど豪壮な意匠の町家。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 247 | 明覚寺本堂 | 広島県三次市(みよし) | S3/R2移築 | 石見銀山街道の吉舎(きさ)宿にある真宗寺院。東面して建つ本堂の東南に鐘楼、山門を配する。本堂は東京の両国にあった松井角平事務所設計の慈光院本堂を移築したもの。七間堂で外陣は土間をコの字に廻らした斬新な平面とする良質な近代和風の本堂。鐘堂は基壇上に建つ一間四方入母屋造り。三斗を組み、中備は墓股、軒は一軒繁垂木。山門は四脚門。冠木の上方に前後の控柱を繋ぐ頭貫を通した特異な形式。通りに面して建ち、地域の歴史的景観をつくる。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 248 | 明覚寺鐘堂 | | M25/S中期改修 | | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 249 | 明覚寺山門 | | M2 | | 宗教 | 工作物 | 1 |
| 250 | 中野家住宅店舗兼主屋 | 山口県長門市 | M中期/S22頃・H5改修 | 赤間関街道の古市(ふるいち)にある呉服商の屋敷。道に南面して店舗兼主屋を建て、南北に長い敷地に内蔵、離れ、茶室、穀物蔵、米蔵、衣装蔵を配し、敷地東辺に門及び塀を建てる。主屋は、南半を広い土間とし、上部吹抜周囲に廊下を廻らし、洋品店時の陳列棚を並べる。間口長大で、街道沿いの歴史的な景観の核となる町家。内蔵は商品や家財道具を収納する土蔵。内部は各階一室の板敷。離れは賓客用の座敷棟。北西に昭和4年頃増築の三階建の洋風望楼が建ち、地域のランドマーク的存在。茶室は四畳半で庭に面し開口多く、開放的なつくり。穀物蔵は外壁を漆喰塗仕上とし腰を石張。米蔵は内部を一室の板敷とし壁は縦板張。衣装蔵は米蔵と並び建ち、敷地北西の景観をつくる。門は薬医門で、簡素なつくりながら塀と一体となって敷地東辺の構えを整える。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 251 | 中野家住宅内蔵 | | M中期 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 252 | 中野家住宅離れ | | T後期/S4頃増築 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 253 | 中野家住宅茶室 | | T後期 | | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 254 | 中野家住宅穀物蔵 | | E後期 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 255 | 中野家住宅米蔵 | | M中期 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 256 | 中野家住宅衣装蔵 | | M24 | | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 257 | 中野家住宅門及び塀 | | T後期 | | 産業3次 | 工作物 | 1 |
| 258 | 旧西野家住宅(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷)辰巳(たつみ)座敷 | 徳島県徳島市 | E末期/S29移築 | 吉野川河口の川内の角地に位置し、元藍商屋敷から移築した座敷と長屋門。辰巳座敷は、東は土間、西は21畳の座敷で、床廻りには銘木を用いた上質な意匠。長屋門は扉板など良材を用い、格式ある表構えで辰巳座敷とともに歴史的景観をつくる。 | 文化福祉 | 建築物 | 2 |
| 259 | 旧西野家住宅(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷)長屋門 | | 安政2(1855)/S29移築 | | 文化福祉 | 建築物 | 1 |
| 260 | 立江寺(たつえじ)多宝塔 | 徳島県小松島市 | T12 | 四国霊場十九番札所の境内南方に建つ多宝塔。板支輪や腰組墓股を彫刻で飾った近代の多宝塔。 | 宗教 | 建築物 | 1 |
| 261 | 旧高橋家住宅主屋 | 愛媛県喜多郡内子町 | S26頃/H8改修 | 小田川西岸の高台に位置する旧家の屋敷。主屋、離れ、井戸を配し、表門とこれらを囲う石垣及び土塀からなる。主屋は昭和26年に軸部を取替え改修。伝統的な外観を残しつつ接客空間を充実した戦後の和洋折衷住宅の様相を伝える。離れは二階南の続き間座敷は西と南の窓から小田川を望み、床柱など銘木を用いた上質なつくり。表門は腕木門。正面石段とともに旧家の表構えを形成する表門。石垣及び土塀は出隅を算木積とした石垣上部に土塀を建て、旧家の重厚な屋敷構えをつくる。井戸は花崗岩砕石を相欠として井桁に組んだ丁寧なつくり。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 262 | 旧高橋家住宅離れ | | S3頃/H14改修 | | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 263 | 旧高橋家住宅表門 | | S26頃 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 264 | 旧高橋家住宅石垣及び土塀 | | E後期/S3頃増築 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 265 | 旧高橋家住宅井戸 | | 文政10(1827) | | 住宅 | 工作物 | 3 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|-----|----------------------|---------|---------------------|---|------|-----|----|
| 266 | 旧森田家住宅主屋 | 高知県香南市 | M後期 | 高知平野東部の農村集落に位置する郷土格の旧家の屋敷。主屋の北西に土蔵を配し、敷地南辺に表門と脇門を建て、敷地内に塀重門と土塀を配す。主屋は南面中央に入母屋屋根を重ねた式台玄関を突出。座敷境に大振りな欄間彫刻を飾り、縁側下屋に丸太の化粧桁を用いるなど豪壮なつくり。家財蔵の土蔵は水切瓦を廻して上部に鉢巻を付し、地域性豊かな土蔵。表門は屋根は起りのある薬医門で木太く豪壮な門。塀重門は小規模な一間一戸の棟門。脇門は薬医門で、木柄細く全体に簡易な門。土塀は式台玄関の東西脇に廻り、全体で枳形状経路をつくり武家風の構えを形成する。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 267 | 旧森田家住宅土蔵 | | M後期／T後期増築 | | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 268 | 旧森田家住宅表門 | | M後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 269 | 旧森田家住宅塀重門 | | M後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 270 | 旧森田家住宅脇門 | | M後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 271 | 旧森田家住宅土塀 | | M後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 272 | 八名(やな)家住宅(旧庄野家住宅)主屋 | 福岡県北九州市 | T12頃 | 門司駅東方の住宅地に位置する退役海軍少佐の住宅の主屋と離れ。主屋は和洋折衷住宅で、洋室の外壁は下見板張りで内部は蛇腹付の漆喰天井に中心飾を備えた本格的なもの。離れは繊細な組子を用いた欄間や付書院など洗練されたつくり。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 273 | 八名家住宅(旧庄野家住宅)離れ | | T12頃 | | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 274 | 河野(かわの)家住宅(旧池本家住宅)主屋 | | M前期／S52・H31改修 | 槻田川(つきだがわ)上流の農村集落に位置する農家の主屋。三本溝の敷鴨居や簀子天井など古式を残す。大きな茅葺屋根が地域の歴史的景観をつくる。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 275 | 旧國武合名会社綿糸部店舗及び倉庫 | 福岡県久留米市 | T11／S前期、H27改修 | 久留米旧城下に位置する久留米緋製造販売業の旧店舗及び倉庫と倉庫。大正11年建築の旧店舗は角地に建ち北に昭和前期改修の倉庫を接続する。旧店舗は腕木を重ねた出桁(だしげた)庇を廻らす豪壮な外観とし、旧倉庫は西妻に社標を掲げてアクセントとする。旧商品庫の倉庫は鉾津煉瓦を用いた木骨煉瓦造。正面アーチに社標を掲げ、地域の歴史的景観をつくる。 | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 276 | 旧國武合名会社倉庫 | | M後期 | | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 277 | 九州建具木工所倉庫 | 福岡県大川市 | S31／H元頃改修 | 筑後川河口の大川に位置する木工所の倉庫。正面は前面に迫出しパラペットを立上げる。モダンな外観が戦後の木工業の繁栄を物語る。 | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 278 | 観世音寺宝蔵 | 福岡県太宰府市 | S34／S36・H21改修 | 大宰府政庁跡に近い観世音寺境内に建つ文化財収蔵展示施設。設計は伊藤要太郎。防湿・防熱効果を高めるためピロティと二重壁を採用した鉄筋コンクリート造建築。端正かつ優美な戦後の和風建築。 | 宗教 | 建築物 | 2 |
| 279 | 旧松野家住宅(野口家住宅)主屋 | 佐賀県佐賀市 | M42頃 | 佐賀市街地北方の和紙産地の名尾に位置する地主の屋敷。敷地内に主屋、小屋、取水池、これらを囲う門柱と石垣を配する。主屋は入母屋造り屋根を直交し、全体に矩折れの平面とする。式台や拭漆塗仕上とした仏間など、随所に家格を示す設えを備える。小屋は座敷と物置からなる建物で、座敷は青年組の宿にも利用するなど当地域の習俗を示す上でも貴重。石垣は出隅部を鎬積とし、石垣との取合や端部の納まりなど取水池も、石材加工技術の高さを示す。 | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 280 | 旧松野家住宅(野口家住宅)小屋 | | M前期 | | 住宅 | 建築物 | 2 |
| 281 | 旧松野家住宅(野口家住宅)門柱及び石垣 | | T前期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 282 | 旧松野家住宅(野口家住宅)取水池 | | T前期／S40頃改修 | | 住宅 | 工作物 | 3 |
| 283 | 堤内家住宅主屋 | 長崎県島原市 | T後期 | 島原城跡三の丸南東部に位置する住宅の主屋と門及び石塀。主屋は東南庭に面して部屋を雁行して並べて縁を廻らす。座敷の書院は組子を用いた繊細なつくり。門は表面は粗い割石仕上。石塀は江戸後期の建築。出隅に反りを付け通りに面し旧城下の歴史的景観をつくる。 | 住宅 | 建築物 | 1 |
| 284 | 堤内家住宅門及び石塀 | | E後期／T後期 | | 住宅 | 工作物 | 1 |
| 285 | 商工クラブ店舗 | 熊本県熊本市 | M23／R2改修 | 熊本城跡の南西の市街地に位置する料亭。入母屋造り玄関を付し、二階は連窓前面に手擦を廻らし窓上に庇を付す。近代の熊本城下の賑わいを伝える料亭。 | 産業3次 | 建築物 | 1 |
| 286 | 長谷川家住宅主屋 | 熊本県宇城市 | M16／T8・S2頃増築、同50頃改修 | 砂川右岸に位置し製糸業を営んだ商家の主屋。かつては一階西下手の板間を荷造所、二階を女子寮として使用し、地域の製糸業の歴史を伝える。 | 産業2次 | 建築物 | 1 |
| 287 | 沖縄ホテル旅館棟 | 沖縄県那覇市 | S36／H5改修 | 安里(あさと)駅北東の市街地に位置する昭和戦前から続くホテル。敷地内にレンガ棟、旅館棟を配し、大道門を道から引き込んで建て、敷地周囲に瓦石垣を巡らす。いずれも設計は仲座久雄。旅館棟は窓に庇を廻らし、中空ブロックで飾った壁面やバルコニーなど、仲座らしい特徴を示す。レンガ棟は一階は鉄筋コンクリート造で、煉瓦積を化粧で現し、二階は煉瓦造とした混構造。戦後沖縄におけるホテル発祥の遺例として希少。大道門は一間腕木門形式で鉄筋コンクリート造。沖縄の伝統建築の意匠で、戦後沖縄を代表するホテル入口を飾る。瓦石垣はコンクリート造壁体に琉球石灰岩を積み、屋根は琉球赤瓦で葺く。ホテルの表構えを整える。 | 産業3次 | 建築物 | 2 |
| 288 | 沖縄ホテルレンガ棟 | | S24頃 | | 産業3次 | 建築物 | 3 |
| 289 | 沖縄ホテル大道門(うふどーもん) | | S36 | | 産業3次 | 工作物 | 1 |
| 290 | 沖縄ホテル瓦石垣 | | S36 | | 産業3次 | 工作物 | 1 |

| | 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 | 種別 | 基準 |
|---|---|-----|------|-----|----|----|----|
| 注 | <p data-bbox="215 277 989 305">建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。</p> <p data-bbox="215 320 784 348">種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。</p> <p data-bbox="215 363 1405 392">基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。</p> | | | | | | |